



2022年3月期 決算短信〔日本基準〕(連結)

2022年5月13日
東

上場会社名 旭松食品株式会社 上場取引所
 コード番号 2911 URL <http://www.asahimatsu.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 木下 博隆
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役経営管理部長 (氏名) 足立 恵 (TEL) 06-6306-4121
 定時株主総会開催予定日 2022年6月24日 配当支払開始予定日 2022年6月27日
 有価証券報告書提出予定日 2022年6月27日
 決算補足説明資料作成の有無 : 無
 決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 2022年3月期の連結業績(2021年4月1日~2022年3月31日)

(1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | |
|----------|-------|------|------|-------|------|-------|-----------------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2022年3月期 | 8,033 | - | 205 | △22.5 | 268 | △30.9 | 196 | △16.9 |
| 2021年3月期 | 8,224 | △6.9 | 264 | △15.5 | 388 | 4.1 | 236 | △10.1 |

(注) 包括利益 2022年3月期 279百万円(△24.4%) 2021年3月期 369百万円(92.1%)

| | 1株当たり 当期純利益 | 潜在株式調整後 1株当たり 当期純利益 | 自己資本 当期純利益率 | 総資産 経常利益率 | 売上高 営業利益率 |
|----------|----------------|---------------------------|----------------|--------------|--------------|
| 2022年3月期 | 円 銭 107.57 | 円 銭 - | % 2.7 | % 2.8 | % 2.6 |
| 2021年3月期 | 130.07 | - | 3.3 | 3.9 | 3.2 |

(参考) 持分法投資損益 2022年3月期 -百万円 2021年3月期 -百万円

2022年3月期の期首より、「収益認識に関する会計基準」等を適用しております。このため、2022年3月期の売上高の対前期増減率は記載しておりません。

(2) 連結財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|----------|--------------|--------------|-----------|-----------------|
| 2022年3月期 | 百万円 9,579 | 百万円 7,551 | % 78.3 | 円 銭 4,102.77 |
| 2021年3月期 | 9,918 | 7,315 | 73.3 | 3,998.33 |

(参考) 自己資本 2022年3月期 7,496百万円 2021年3月期 7,268百万円

(3) 連結キャッシュ・フローの状況

| | 営業活動による キャッシュ・フロー | 投資活動による キャッシュ・フロー | 財務活動による キャッシュ・フロー | 現金及び現金同等物 期末残高 |
|----------|----------------------|----------------------|----------------------|-------------------|
| 2022年3月期 | 百万円 675 | 百万円 △188 | 百万円 △600 | 百万円 845 |
| 2021年3月期 | 829 | △691 | △279 | 925 |

2. 配当の状況

| | 年間配当金 | | | | | 配当金総額 (合計) | 配当性向 (連結) | 純資産 配当率 (連結) |
|--------------|----------|-------------|----------|--------------|--------------|---------------|--------------|--------------------|
| | 第1四半期末 | 第2四半期末 | 第3四半期末 | 期末 | 合計 | | | |
| 2021年3月期 | 円 銭 - | 円 銭 0.00 | 円 銭 - | 円 銭 35.00 | 円 銭 35.00 | 百万円 63 | % 26.9 | % 0.9 |
| 2022年3月期 | - | 0.00 | - | 35.00 | 35.00 | 63 | 32.5 | 0.9 |
| 2023年3月期(予想) | - | 0.00 | - | 35.00 | 35.00 | | 30.5 | |

3. 2023年3月期の連結業績予想(2022年4月1日~2023年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 親会社株主に帰属する当期純利益 | | 1株当たり当期純利益 |
|-----|-------|-----|------|-----|------|-----|-----------------|-----|---------------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | |
| 通 期 | 8,200 | 2.1 | 220 | 7.1 | 280 | 4.1 | 210 | 7.0 | 円 銭 114.93 |

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無
 新規 一社（社名）、除外 一社（社名）

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数（普通株式）

| | | | | |
|---------------------|----------|------------|----------|------------|
| ① 期末発行済株式数（自己株式を含む） | 2022年3月期 | 1,876,588株 | 2021年3月期 | 1,876,588株 |
| ② 期末自己株式数 | 2022年3月期 | 49,388株 | 2021年3月期 | 58,748株 |
| ③ 期中平均株式数 | 2022年3月期 | 1,824,320株 | 2021年3月期 | 1,815,059株 |

(参考) 個別業績の概要

1. 2022年3月期の個別業績（2021年4月1日～2022年3月31日）

(1) 個別経営成績 (%表示は対前期増減率)

| | 売上高 | | 営業利益 | | 経常利益 | | 当期純利益 | |
|----------|----------------|------|-----------------------|-------|------|-------|-------|-------|
| | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % | 百万円 | % |
| 2022年3月期 | 7,572 | — | 175 | △25.7 | 243 | △33.3 | 173 | △19.7 |
| 2021年3月期 | 7,740 | △7.4 | 235 | △21.5 | 364 | △0.6 | 215 | △16.4 |
| | 1株当たり 当期純利益 | | 潜在株式調整後 1株当たり当期純利益 | | | | | |
| | 円 銭 | | 円 銭 | | | | | |
| 2022年3月期 | 94.86 | | — | | | | | |
| 2021年3月期 | 118.76 | | — | | | | | |

2022年3月期の期首より、「収益認識に関する会計基準」等を適用しております。このため、2022年3月期の売上高の対前期増減率は記載しておりません。

(2) 個別財政状態

| | 総資産 | 純資産 | 自己資本比率 | 1株当たり純資産 |
|----------|-------|-------|--------|----------|
| | 百万円 | 百万円 | % | 円 銭 |
| 2022年3月期 | 9,101 | 7,185 | 78.9 | 3,932.38 |
| 2021年3月期 | 9,497 | 7,041 | 74.1 | 3,873.67 |

(参考) 自己資本 2022年3月期 7,185百万円 2021年3月期 7,041百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

●本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想に関する事項等については、添付資料4ページ「1. 経営成績等の概況」の「(4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

| | |
|------------------------------|----|
| 1. 経営成績等の概況 | 2 |
| (1) 当期の経営成績の概況 | 2 |
| (2) 当期の財政状態の概況 | 3 |
| (3) 当期のキャッシュ・フローの概況 | 3 |
| (4) 今後の見通し | 4 |
| (5) 継続企業の前提に関する重要事象等 | 4 |
| 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 | 4 |
| 3. 連結財務諸表及び主な注記 | 5 |
| (1) 連結貸借対照表 | 5 |
| (2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 | 7 |
| (3) 連結株主資本等変動計算書 | 9 |
| (4) 連結キャッシュ・フロー計算書 | 11 |
| (5) 連結財務諸表に関する注記事項 | 12 |
| (継続企業の前提に関する注記) | 12 |
| (会計方針の変更) | 12 |
| (表示方法の変更) | 12 |
| (セグメント情報等) | 13 |
| (1株当たり情報) | 13 |
| (重要な後発事象) | 13 |

1. 経営成績等の概況

(1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における当社グループ（当社及び連結子会社）の財政状態、経営成績及びキャッシュ・フロー（以下、「経営成績等」という。）の状況の概要は次のとおりであります。

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け経済活動が停滞いたしました。また、地政学的リスクの上昇懸念や、エネルギー価格の高騰により一段と厳しさを増しております。

食品業界におきましては、原材料費や動力費など各種コストは円安とも重なってさらに高騰しており、ますます厳しい経営環境となっております。一方、消費者の安全・安心への関心は高く、さらなる高い品質・衛生管理体制の整備が求められております。

このような状況のなか、当社グループでは、大豆価格が過去最高値に迫るほど高騰したため、これを主原料とする凍豆腐の価格改定を2021年9月1日より実施いたしました。また、HACCPを包括した食品安全の国際規格FSSC 22000のバージョンの更新を引き続き実施しており、品質の維持・向上はもとより合理化、省エネルギーのための設備投資を継続的かつ積極的に行っております。経営面では、SDGsに沿った取り組み推進のため、プラスチック削減、紙容器の森林認証素材使用の推進、健康経営優良法人の継続認定により従業員の福利厚生充実などの取り組みを強化しております。さらに、新型コロナウイルス感染症への対応については、状況に応じた感染予防対策を講じており、市場への円滑な商品提供に万全を期しております。

当社グループの当連結会計年度の業績につきましては、売上高は好調だった前年度には及ばず、80億3千3百万円（前年同期82億2千4百万円）となりました。なお、収益認識会計基準等の適用により、当連結会計年度の売上高は従来の会計処理に比べ2千1百万円減少しております。利益面では、引き続き製造コストの低減や経費の削減などを図ってまいりましたが、特に年後半以降顕著となった動力費などのコストアップの影響が大きく営業利益は2億5百万円（前年同期比22.5%減）、経常利益は2億6千8百万円（同30.9%減）、親会社株主に帰属する当期純利益は1億9千6百万円（同16.9%減）となりました。

部門別概況は、次のとおりであります。

[凍豆腐]

凍豆腐では、急激な原材料・燃料費・運送費等の値上がりによる大幅なコスト上昇を企業努力だけでは吸収することができず、やむを得ず2021年9月1日より5～8%の出荷価格改定を実施いたしました。販売促進の活動面では、市場拡大・活性化を図るべく啓蒙活動をあらゆる機会をとらえ行ってまいりました。特に凍豆腐の新たな健康機能として免疫賦活効果や腸内環境への好影響に関する論文などを信州大学と共同で発表いたしました。また、11月には、一般社団法人国際スーパーフード・アンチエイジング機構より、当社「新あさひ豆腐10個入」がスーパーフード認証を受け、健康長寿を支えるスーパー食材としての効能を広報してまいりました。しかし、巣ごもり需要が極めて大きかった前期には及ばず、売上高は35億9千9百万円（前年同期39億4千6百万円）となりました。なお、収益認識会計基準等の適用により、当連結会計年度の売上高は従来の会計処理に比べ8百万円減少しております。

[加工食品(即席みそ汁等)]

加工食品では、単品収益管理の徹底により不採算アイテムの改廃を進め収益力の改善を図る一方、好調に推移しているカップ入りタイプのオートミールのアイテムアップなど新商品の発売を強化してまいりました。さらに、認知度をアップさせる施策としてインスタグラムを利用した消費者キャンペーンなどを実施してまいりました。その結果、売上高は24億5千万円（前年同期22億7千7百万円）と、順調に拡大することができました。なお、収益認識会計基準等の適用により、当連結会計年度の売上高は従来の会計処理に比べ1千3百万円減少しております。

〔その他食料品〕

その他食料品では、売上高は19億8千4百万円（前年同期19億9千9百万円）となりました。主力の医療用食材につきましても、製造コストの上昇を受け2021年10月1日より価格改定を実施いたしました。新型コロナウイルス感染予防対策の中、病院や介護施設などへの訪問が制限されておりましたが、アイテムアップや営業活動の工夫・強化により売上を拡大することができました。一方、その他OEM製品等は需要減少を主要因に低調に推移いたしました。

（2）当期の財政状態の概況

当連結会計年度の資産合計は、前連結会計年度に比べ3億3千8百万円減少し95億7千9百万円（前連結会計年度比3.4%減）となりました。これは、受取手形及び売掛金の増加3千7百万円や棚卸資産の増加1億2千1百万円、投資有価証券の時価評価などでの増加1千7百万円があったものの、現金及び預金の減少2億8千1百万円や有形固定資産の減少2億1千9百万円があったことが主な要因です。

当連結会計年度の負債合計は、前連結会計年度に比べ5億7千5百万円減少し20億2千7百万円（同22.1%減）となりました。これは、支払手形及び買掛金の増加7千5百万円などがあったものの、返済に伴う長期借入金の減少3億8千6百万円や短期借入金の減少1億2千1百万円、未払金の減少7千4百万円などが主な要因です。

当連結会計年度の純資産合計は、前連結会計年度に比べ2億3千6百万円増加し75億5千1百万円（同3.2%増）となりました。これは利益剰余金の増加1億2千9百万円や為替換算調整勘定の増加6千1百万円などがあったことによるものです。

以上により自己資本比率は前連結会計年度に比べ5.0ポイント増加し78.3%となりました。

（3）当期のキャッシュ・フローの概況

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度における営業活動による現金及び現金同等物(以下「資金」という。)の増加は、6億7千5百万円であります。増減の主な内訳は、減少要因として棚卸資産の増加で1億1千4百万円、売上債権の増加で3千4百万円、法人税等の支払額で4千6百万円であり、増加要因として税金等調整前当期純利益の計上2億6千2百万円、減価償却費5億3千9百万円、仕入債務の増加額7千5百万円であります。

また、前連結会計年度に比べ資金の流入額が1億5千3百万円減少しています。減少の要因としましては、仕入債務の増減差額で1億1千2百万円の増加や退職給付制度移行未払金の増減差額で6千万円の増加があったものの、売上債権の増減差額で1億5千2百万円の減少や棚卸資産の増減差額で9千4百万円の減少、投資有価証券評価損の増減差額で6千9百万円の減少などがあったことなどによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度における投資活動による資金の減少は、1億8千8百万円であります。減少の主な要因は、定期預金の預入による支出と収入の差額による増加2億円があったものの、有形固定資産の取得による支出3億7千5百万円などによるものです。

また、前連結会計年度に比べ資金の流出額が5億2百万円減少しております。流出額減少の要因としましては、有形固定資産の取得による支出の減少1億5百万円や無形固定資産の取得による支出の減少8千7百万円、定期預金の預入による支出の減少、同払戻による収入の増加を合わせ3億1百万円の支出減少があったことなどによるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

当連結会計年度における財務活動による資金の減少は、6億円であります。減少の主な要因は、長期借入金の返済による支出4億8千3百万円や配当金の支払額6千3百万円があったことによるものです。

また、前連結会計年度に比べ資金の流出額が3億2千万円増加しております。資金流出増加の主な要因は、長期借入による収入の減少3億1千万円などによるものです。

以上により当連結会計年度末における資金は、前連結会計年度末に比べ8千万円減少し8億4千5百万円となりました。

(4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、長期化している新型コロナウイルス感染への対応、東欧など地政学的リスクの高まり、人件費や物流コストの上昇、為替変動や原材料価格の変動などに伴う業績への影響など依然として厳しい収益環境が続くものと推測されます。

当社グループといたしましては、各事業での市場活性化を目指し、常に新商品の開発・発売を行ってまいります。主力事業の凍豆腐におきましては、引き続き健康有用性に関する研究成果を継続的に訴求していくことに加え、適正価格の維持を図ってまいります。また、市場全体の維持拡大に向け、業界団体などとも連携し積極的に広報活動を行ってまいります。加工食品事業につきましては、過剰な低価格販売競争は抑制し価値訴求型の新商品の開発・発売の継続により競争力の向上を図ってまいります。さらに、全体の売上拡大を図るため、成長が見込める医療用食材を第3の柱とすべく育成に注力するとともに、新商品開発を一層強化し新たな柱となる事業への展開を継続して進めてまいります。

収益力の改善につきましては、売上拡大と共にコスト上昇を極力吸収すべく効率的な生産体制への変更及び生産性向上のための設備投資や原材料調達方法の見直しなどを継続的に推進してまいります。しかしながら、企業努力では吸収しきれないコストの上昇につきましては、適切なタイミングで価格改定の是非を判断してまいります。

また、企業価値の向上につきましては、SDGsに沿った取り組みを行い、「持続的成長を実現できる企業であること」を目指してまいります。

新型コロナウイルスへの対応につきましては、グループとして感染防止に努めると同時に安定的な商品供給のための施策を推進してまいります。

次期の通期業績につきましては、安定的な業績に併せて新規事業を成長させることを念頭に進め、売上高は82億円、営業利益は2億2千万円、経常利益は2億8千万円、親会社株主に帰属する当期純利益は2億1千万円を見込んでおります。

(5) 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループの業務は、現在日本国内が主体であり、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面は日本基準を採用することとしておりますが、今後の外国人株主比率の推移及び国内他社のIFRS（国際財務報告基準）採用動向を踏まえつつ、IFRS適用の検討をすすめていく方針であります。

3. 連結財務諸表及び主な注記

(1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2021年3月31日) | 当連結会計年度 (2022年3月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------|
| 資産の部 | | |
| 流動資産 | | |
| 現金及び預金 | 2,261,366 | 1,980,330 |
| 受取手形及び売掛金 | 1,393,692 | 1,431,530 |
| 棚卸資産 | 847,275 | 968,633 |
| その他 | 74,202 | 83,820 |
| 貸倒引当金 | △5,923 | △6,626 |
| 流動資産合計 | 4,570,614 | 4,457,687 |
| 固定資産 | | |
| 有形固定資産 | | |
| 建物及び構築物 | 5,886,377 | 5,947,657 |
| 減価償却累計額 | △4,628,977 | △4,757,404 |
| 建物及び構築物(純額) | 1,257,399 | 1,190,252 |
| 機械装置及び運搬具 | 6,939,027 | 7,004,696 |
| 減価償却累計額 | △5,532,444 | △5,747,346 |
| 機械装置及び運搬具(純額) | 1,406,583 | 1,257,350 |
| 土地 | 1,703,573 | 1,703,573 |
| リース資産 | 187,181 | 210,279 |
| 減価償却累計額 | △133,178 | △161,075 |
| リース資産(純額) | 54,002 | 49,204 |
| 建設仮勘定 | 24,546 | 20,567 |
| その他 | 449,322 | 471,594 |
| 減価償却累計額 | △374,233 | △390,799 |
| その他(純額) | 75,088 | 80,795 |
| 有形固定資産合計 | 4,521,193 | 4,301,743 |
| 無形固定資産 | 177,717 | 162,816 |
| 投資その他の資産 | | |
| 投資有価証券 | 592,352 | 610,122 |
| 繰延税金資産 | 6,988 | 4,249 |
| その他 | 53,020 | 43,056 |
| 貸倒引当金 | △3,227 | - |
| 投資その他の資産合計 | 649,133 | 657,428 |
| 固定資産合計 | 5,348,044 | 5,121,988 |
| 資産合計 | 9,918,658 | 9,579,676 |

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (2021年3月31日) | 当連結会計年度 (2022年3月31日) |
|---------------|-------------------------|-------------------------|
| 負債の部 | | |
| 流動負債 | | |
| 支払手形及び買掛金 | 503,535 | 578,860 |
| 短期借入金 | 507,619 | 386,231 |
| リース債務 | 27,946 | 24,556 |
| 未払金 | 310,871 | 236,271 |
| 未払法人税等 | 45,458 | 41,801 |
| 賞与引当金 | 73,640 | 52,041 |
| 設備関係支払手形 | 125,153 | 37,858 |
| その他 | 124,375 | 154,800 |
| 流動負債合計 | 1,718,599 | 1,512,422 |
| 固定負債 | | |
| 長期借入金 | 748,497 | 362,266 |
| リース債務 | 31,115 | 29,649 |
| 長期未払金 | 40,630 | 39,457 |
| 繰延税金負債 | 9,141 | 28,759 |
| 資産除去債務 | 48,031 | 48,179 |
| その他 | 7,050 | 7,050 |
| 固定負債合計 | 884,465 | 515,361 |
| 負債合計 | 2,603,065 | 2,027,783 |
| 純資産の部 | | |
| 株主資本 | | |
| 資本金 | 1,617,844 | 1,617,844 |
| 資本剰余金 | 1,632,423 | 1,632,423 |
| 利益剰余金 | 4,125,283 | 4,255,143 |
| 自己株式 | △143,776 | △120,869 |
| 株主資本合計 | 7,231,774 | 7,384,541 |
| その他の包括利益累計額 | | |
| その他有価証券評価差額金 | △20,322 | △6,386 |
| 為替換算調整勘定 | 56,879 | 118,430 |
| その他の包括利益累計額合計 | 36,557 | 112,044 |
| 非支配株主持分 | 47,260 | 55,306 |
| 純資産合計 | 7,315,593 | 7,551,892 |
| 負債純資産合計 | 9,918,658 | 9,579,676 |

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書

連結損益計算書

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日) |
|-----------------|--|--|
| 売上高 | 8,224,260 | 8,033,637 |
| 売上原価 | 5,822,097 | 5,741,941 |
| 売上総利益 | 2,402,163 | 2,291,695 |
| 販売費及び一般管理費 | 2,137,336 | 2,086,335 |
| 営業利益 | 264,827 | 205,359 |
| 営業外収益 | | |
| 受取利息 | 4,947 | 4,792 |
| 受取配当金 | 14,098 | 15,483 |
| 受取技術料 | 28,840 | 35,339 |
| 補助金収入 | 4,280 | 5,349 |
| 受取保険金 | 71,972 | 2,782 |
| 雑収入 | 14,455 | 12,316 |
| 営業外収益合計 | 138,595 | 76,065 |
| 営業外費用 | | |
| 支払利息 | 6,255 | 4,966 |
| 賃貸収入原価 | 6,773 | 6,733 |
| 雑損失 | 1,460 | 876 |
| 営業外費用合計 | 14,489 | 12,576 |
| 経常利益 | 388,932 | 268,848 |
| 特別利益 | | |
| 固定資産売却益 | 884 | 6,231 |
| 品質関連損失引当金戻入益 | 1,248 | - |
| 特別利益合計 | 2,133 | 6,231 |
| 特別損失 | | |
| 固定資産除却損 | 12,230 | 8,228 |
| 投資有価証券売却損 | - | 917 |
| 投資有価証券評価損 | 73,388 | 3,828 |
| 品質関連損失 | 10,413 | - |
| 特別損失合計 | 96,033 | 12,974 |
| 税金等調整前当期純利益 | 295,033 | 262,105 |
| 法人税、住民税及び事業税 | 54,507 | 49,010 |
| 法人税等調整額 | 2,482 | 15,650 |
| 法人税等合計 | 56,989 | 64,660 |
| 当期純利益 | 238,043 | 197,445 |
| 非支配株主に帰属する当期純利益 | 1,952 | 1,206 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | 236,091 | 196,239 |

連結包括利益計算書

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日) |
|--------------|--|--|
| 当期純利益 | 238,043 | 197,445 |
| その他の包括利益 | | |
| その他有価証券評価差額金 | 122,600 | 13,935 |
| 為替換算調整勘定 | 9,208 | 68,390 |
| その他の包括利益合計 | 131,809 | 82,326 |
| 包括利益 | 369,853 | 279,771 |
| (内訳) | | |
| 親会社株主に係る包括利益 | 366,980 | 271,726 |
| 非支配株主に係る包括利益 | 2,873 | 8,045 |

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2020年4月1日 至 2021年3月31日)

(単位：千円)

| | 株主資本 | | | | |
|---------------------|-----------|-----------|-----------|----------|-----------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 |
| 当期首残高 | 1,617,844 | 1,632,423 | 3,947,011 | △166,508 | 7,030,770 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | △54,256 | | △54,256 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | 236,091 | | 236,091 |
| 自己株式の処分 | | | △3,562 | 23,021 | 19,458 |
| 自己株式の取得 | | | | △288 | △288 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | | | | | |
| 当期変動額合計 | - | - | 178,272 | 22,732 | 201,004 |
| 当期末残高 | 1,617,844 | 1,632,423 | 4,125,283 | △143,776 | 7,231,774 |

| | その他の包括利益累計額 | | | 非支配株主持分 | 純資産合計 |
|---------------------|--------------|----------|---------------|---------|-----------|
| | その他有価証券評価差額金 | 為替換算調整勘定 | その他の包括利益累計額合計 | | |
| 当期首残高 | △142,922 | 48,591 | △94,331 | 44,387 | 6,980,826 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | | | △54,256 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | | | 236,091 |
| 自己株式の処分 | | | | | 19,458 |
| 自己株式の取得 | | | | | △288 |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | 122,600 | 8,287 | 130,888 | 2,873 | 133,761 |
| 当期変動額合計 | 122,600 | 8,287 | 130,888 | 2,873 | 334,766 |
| 当期末残高 | △20,322 | 56,879 | 36,557 | 47,260 | 7,315,593 |

当連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位:千円)

| | 株主資本 | | | | |
|---------------------|-----------|-----------|-----------|----------|-----------|
| | 資本金 | 資本剰余金 | 利益剰余金 | 自己株式 | 株主資本合計 |
| 当期首残高 | 1,617,844 | 1,632,423 | 4,125,283 | △143,776 | 7,231,774 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | △63,624 | | △63,624 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | 196,239 | | 196,239 |
| 自己株式の処分 | | | △2,755 | 22,907 | 20,152 |
| 自己株式の取得 | | | | - | - |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | | | | | |
| 当期変動額合計 | - | - | 129,859 | 22,907 | 152,766 |
| 当期末残高 | 1,617,844 | 1,632,423 | 4,255,143 | △120,869 | 7,384,541 |

| | その他の包括利益累計額 | | | 非支配株主持分 | 純資産合計 |
|---------------------|--------------|----------|---------------|---------|-----------|
| | その他有価証券評価差額金 | 為替換算調整勘定 | その他の包括利益累計額合計 | | |
| 当期首残高 | △20,322 | 56,879 | 36,557 | 47,260 | 7,315,593 |
| 当期変動額 | | | | | |
| 剰余金の配当 | | | | | △63,624 |
| 親会社株主に帰属する当期純利益 | | | | | 196,239 |
| 自己株式の処分 | | | | | 20,152 |
| 自己株式の取得 | | | | | - |
| 株主資本以外の項目の当期変動額(純額) | 13,935 | 61,551 | 75,487 | 8,045 | 83,532 |
| 当期変動額合計 | 13,935 | 61,551 | 75,487 | 8,045 | 236,299 |
| 当期末残高 | △6,386 | 118,430 | 112,044 | 55,306 | 7,551,892 |

(4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

| | 前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日) |
|-------------------------|--|--|
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 税金等調整前当期純利益 | 295,033 | 262,105 |
| 減価償却費 | 531,394 | 539,876 |
| 貸倒引当金の増減額 (△は減少) | 946 | 189 |
| 賞与引当金の増減額 (△は減少) | △22,943 | △21,599 |
| 退職給付制度移行未払金の増減額 (△は減少) | △60,761 | — |
| 受取利息及び受取配当金 | △19,045 | △20,276 |
| 受取保険金 | △71,972 | △2,782 |
| 支払利息 | 6,255 | 4,966 |
| 固定資産売却損益 (△は益) | △884 | △6,231 |
| 固定資産除却損 | 12,230 | 8,228 |
| 投資有価証券売却損益 (△は益) | — | 917 |
| 投資有価証券評価損益 (△は益) | 73,388 | 3,828 |
| 売上債権の増減額 (△は増加) | 117,551 | △34,624 |
| 未払金の増減額 (△は減少) | △6,076 | △12,373 |
| 棚卸資産の増減額 (△は増加) | △19,934 | △114,567 |
| 仕入債務の増減額 (△は減少) | △36,841 | 75,268 |
| 未払消費税等の増減額 (△は減少) | △1,231 | 23,056 |
| その他 | △3,982 | △1,725 |
| 小計 | 793,125 | 704,257 |
| 利息及び配当金の受取額 | 19,197 | 20,189 |
| 利息の支払額 | △6,325 | △4,964 |
| 法人税等の支払額 | △48,710 | △46,901 |
| 保険金の受取額 | 71,972 | 2,782 |
| 営業活動によるキャッシュ・フロー | 829,259 | 675,363 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 定期預金の預入による支出 | △1,885,685 | △1,779,943 |
| 定期預金の払戻による収入 | 1,784,438 | 1,980,652 |
| 有形固定資産の取得による支出 | △481,428 | △375,523 |
| 有形固定資産の売却による収入 | 1,770 | 6,254 |
| 無形固定資産の取得による支出 | △107,909 | △20,172 |
| 投資有価証券の取得による支出 | △3,750 | △3,776 |
| 投資有価証券の売却による収入 | — | 1,903 |
| 貸付金の回収による収入 | 300 | 1,175 |
| その他 | 882 | 989 |
| 投資活動によるキャッシュ・フロー | △691,382 | △188,441 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | | |
| 短期借入金の増減額 (△は減少) | △5,700 | △24,300 |
| 長期借入れによる収入 | 310,000 | — |
| 長期借入金の返済による支出 | △496,595 | △483,319 |
| リース債務の返済による支出 | △33,323 | △29,778 |
| 自己株式の取得による支出 | △288 | — |
| 配当金の支払額 | △53,612 | △63,022 |
| 財務活動によるキャッシュ・フロー | △279,519 | △600,419 |
| 現金及び現金同等物に係る換算差額 | 3,191 | 33,170 |
| 現金及び現金同等物の増減額 (△は減少) | △138,451 | △80,326 |
| 現金及び現金同等物の期首残高 | 1,064,133 | 925,681 |
| 現金及び現金同等物の期末残高 | 925,681 | 845,354 |

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当連結会計年度の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。なお、収益認識に関する会計基準の適用指針第98項に定める取扱いを適用し、国内の商品又は製品の販売において、出荷時から当該商品又は製品の支配が顧客に移転される時までの期間が通常の間である場合には、出荷時に収益を認識しております。

また、商品又は製品の販売に直接紐づく、クーポンなど顧客に支払われる対価について、従来は、販売費及び一般管理費として処理する方法によっておりましたが、売上高から控除する方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当連結会計年度の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当連結会計年度の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

この結果、当連結会計年度の売上高が2千1百万円、販売費及び一般管理費が2千1百万円それぞれ減少しておりますが、営業利益、経常利益及び税金等調整前当期純利益に与える影響はありません。また、利益剰余金の当期首残高への影響もありません。

なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法による組替えを行っておりません。さらに、収益認識会計基準第89-3項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度に係る「収益認識関係」注記については記載しておりません。

(時価の算定に関する会計基準の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を第1四半期連結会計期間の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、連結財務諸表に与える影響はありません。

(表示方法の変更)

(連結損益計算書関係)

前連結会計年度において、独立掲記しておりました「営業外収益」の「為替差益」は、営業外収益の総額の100分の10以下となったため、当連結会計年度より「雑収入」に含めて表示しております。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結損益計算書において、「営業外収益」に表示していた「為替差益」309千円、「雑収入」14,146千円は、「雑収入」14,455千円として組み替えております。

(セグメント情報等)

(セグメント情報)

当社グループは、食料品事業の単一セグメントであるため、記載を省略しております。

(収益認識関係)

顧客との契約から生じる収益を分解した情報は、以下のとおりであります。

当連結会計年度(自 2021年4月1日 至 2022年3月31日)

(単位:千円)

| | 売上区分 | | | 合計 |
|-----------------|-----------|------------------|-----------|-----------|
| | 凍豆腐 | 加工食品 (即席みそ汁等) | その他食料品 | |
| 一時点で移転される財 | 3,599,204 | 2,450,219 | 1,984,213 | 8,033,637 |
| 一定の期間にわたり移転される財 | — | — | — | — |
| 顧客との契約から生じる収益 | 3,599,204 | 2,450,219 | 1,984,213 | 8,033,637 |
| その他の収益 | — | — | — | — |
| 外部顧客への売上高 | 3,599,204 | 2,450,219 | 1,984,213 | 8,033,637 |

(1株当たり情報)

| 項目 | 前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日) |
|------------|--|--|
| 1株当たり純資産額 | 3,998円33銭 | 4,102円77銭 |
| 1株当たり当期純利益 | 130円07銭 | 107円57銭 |

(注) 1 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2 1株当たり当期純利益の算定上の基礎

| | 前連結会計年度 (自 2020年4月1日 至 2021年3月31日) | 当連結会計年度 (自 2021年4月1日 至 2022年3月31日) |
|--------------------------------|--|--|
| 親会社株主に帰属する当期純利益(千円) | 236,091 | 196,239 |
| 普通株主に帰属しない金額(千円) | — | — |
| 普通株式に係る親会社株主に帰属する 当期純利益(千円) | 236,091 | 196,239 |
| 普通株式の期中平均株式数(千株) | 1,815 | 1,824 |

(重要な後発事象)

該当事項はありません。